

優先駐車場の適正利用を目指す!

パーキングパーミット制度の導入を検討!

改正条例案を自民党県議団がハブコメ募集!

埼玉県議会自由民主党議員団では、障害者や妊婦、怪我をされた方々に専用駐車場の利用証を交付するパーキングパーミット制度の導入を目指し、プロジェクト・チームを立ち上げ、課題整理等検討を行って参りました。

パーキングパーミット制度は、平成十八年に佐賀県でスタートした制度であり、現在では福岡県や熊本県など四十一府県が同制度を取り入れています。県内に於いても、川口市と久喜市が独自に制度を導入しています。

こうした中、障害者等の優先区画に健常者が車を止めるルール違反への対応に苦慮している商業施設管理者等の声を受け、埼玉県に於いても広域行政の観点から、同制度の導入を目指すこととし、議論を続けて参りました。県内先進自治体である川口市、久喜市及びダブルスペースを導入している福岡県に現地視察及びオンライン視察を致しました。

課題の整理とともに、制度導入への取り組みとして「埼玉県福祉のまちづくり条例」を一部改正することとし、条例改正に伴う県民の意見を広く募集する「県民パブリック・コメント」を行っています。募集期間は、令和四年十二月二十三日から令和五年一月二十二日までの予定で、自民党埼玉県連ホームページにて賜っています。

条例が早期に制定され、障害者等が利用しやすい環境づくりが整うよう、皆様のご意見を宜しくお願い致します。



条例改正案を議論するプロジェクト・チームの様子



久喜市にて制度等の視察を行うPT幹部

自由民主党埼玉県支部連合会ホームページ
www.jimin-saitama.net

「政策大綱」を提言・提案!

自民党県議団が令和五年度予算編成に関する「政策大綱」「市町村要望」を県知事に提出!

「政策大綱」「市町村要望」を県知事に提出!

自民党県議団政調会が取りまとめた「令和五年度政策大綱(合計392項目)」及び「令和五年度埼玉県予算等に対する要望(市町村要望190項目・議員要望50項目)」を大野知事に提出し、令和五年度の埼玉県予算並びに施策の編成に反映するよう申し入れを行いました。

令和五年度の予算については、引き続きコロナ対策、ポストコロナをにらんだ新しい生活様式、更には経済の再生に向けた対策や災害に強い県土づくり、物価高騰対策等が不可欠であり、対応した予算を求めました。

知事からは、予算編成に際しては各部署に周知を図り、ご提案の反映に向けた検討をさせて頂きたいと前向きな返答がありました。



大野知事に政策大綱を提言する自民党県議団役員

インターネットカフェの個室立てこもりを防ぐ「埼玉県防犯のまちづくり推進条例」を改正!

自民党県議団では、一昨年及び昨年に県内で相次いで発生したインターネットカフェの個室立てこもり事件を受け、県民の安全・安心に寄与すべくプロジェクト・チームを立ち上げ、当該事案に関する課題を検討して参りました。

その中で、店舗内に個室を設けて営業するインターネットカフェ等における犯罪を防止するため、インターネットカフェ等の営業を行う者が必要な措置を講ずるよう努めるものとする旨を定めた「埼玉県防犯のまちづくり推進条例の一部を改正する条例案」を作成し、九月定例県議会に上程し、全会一致にて可決致しました。内容は、個室を設け、当該個室において客に図書等の閲覧を行わせる営業を行う者等は、防犯に係る責任者の設置、従業員に対する防犯に係る指導、犯罪の防止に配慮した構造、設備等を有する店舗の整備その他必要な措置を講ずるよう努めるものとするものです。



インターネットカフェ等の営業を行う者が必要な措置を講ずるよう努めるものとする旨を定めた「埼玉県防犯のまちづくり推進条例の一部を改正する条例案」を作成し、九月定例県議会に上程し、全会一致にて可決致しました。内容は、個室を設け、当該個室において客に図書等の閲覧を行わせる営業を行う者等は、防犯に係る責任者の設置、従業員に対する防犯に係る指導、犯罪の防止に配慮した構造、設備等を有する店舗の整備その他必要な措置を講ずるよう努めるものとするものです。

県行政を熊谷へ分散移転!

埼玉県議会議員 杉田しげみ

埼玉県議会自由民主党議員団 県政調査事務所

住所：埼玉県熊谷市本町1-181

電話：048-526-1313

FAX：048-522-1218

ホームページ：https://sugita-shigemi.com/





自民党県議団ニュース

埼玉県議会自由民主党議員団



県民ニーズを的確に捉え、県政をリードする自民党県議団!



所属議員：長峰宏芳 小谷野五雄 小島信昭 齊藤正明 宮崎栄治郎 本木 茂 田村琢実 高橋政雄 神尾高善 諸井真英 中屋敷慎一 梅沢佳一 新井一徳 須賀敬史 武内政文 齊藤邦明 小川真一郎 白土幸仁 岡地 優 荒木裕介 新井 豪 立石泰広 小久保憲一 日下部伸三 永瀬秀樹 細田善則 岡田静佳 内沼博史 横川雅也 飯塚俊彦 浅井明 宇田川幸夫 松澤 正 吉良英敏 美田宗亮 藤井健志 木下博信 関根信明 宮崎吾一 高木功介 松井弘 渡辺大 千葉達也 逢澤圭一郎 高橋稔裕 阿左美健司 杉田茂実 小川直志 石川誠司 (以上49名)



団長ご挨拶

埼玉県議会自由民主党議員団

団長 小島 信昭

謹賀新年

皆様にかかれましては、健康やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。平素は、埼玉県議会自由民主党議員団の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年、新型コロナウイルス対策が本県の重要施策として対応して参りました。県民の安全・安心に繋がる意見・提言を行うことで、現在の県のコロナ感染症対応に活かされているものと自負しております。また、令和四年度に於いても補正予算を六回組むなど、コロナ対策はもとより、長期化するエネルギー価格や物価の高騰等の影響により、

厳しい状況に置かれている事業者、県民への更なる支援を目指して参りました。

この他にも、県議団にて取り組んだ主な施策についてご紹介致します。昨年二月定例会議に於いて自民党県議団にて提出した「埼玉県ひきこもり支援に関する条例」が可決・成立しました。この条例は、ひきこもり支援に関し、基本理念を定め、県の責務及び民間支援団体等の役割を明らかにするとともに、民間支援団体等による支援を推進することにより、安心して支援を受けられる社会を実現することを目的とするものです。

また、六月定例会では、性的指向及び性自認の多様性を尊重した社会づくりに関し、全ての人の人権が尊重される社会の実現に寄与することを目的とする「埼玉県性の多様性を尊重した社会づくり条例」及び、部落差別の解消を推進し、もって部落差別のない社会を実現することを目的とする「埼玉県部落差別の解消の推進に関する条例」を提案・可決致しました。

九月定例会では、県内で相次いで発生したインターネット力フェイ個室立てこもり事件を受け、個室を設けて営業する店舗に必要な措置を講ずるよう求める防犯条例改正も行いました。

今後も、時代の変化に即応できる政策に取り組みくと、県民の側に立った県政運営を行って参ります。県民の皆様の自民党県議団への更なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

『埼玉県ひきこもり支援に関する条例』が可決・成立。施行されました!



「ひきこもり」はさまざまな要因によって社会的な参加の場面がせぼまり、就労や就学などの自宅以外の生活の場が長期にわたって失われている状態のことを指します。埼玉県議会自由民主党議員団では、ひきこもり支援に関しプロジェクトチームを作り、ひきこもり支援のための協議を続けて参りました。

昨年二月定例会に於いて、「埼玉県ひきこもり支援に関する条例」を自民党発議で提案致しました。条例の内容は、ひきこもり状態にある者の意思を尊重することを基本理念として定め、県の責務及び民間支援団体等の役割を明らかにするとともに、民間支援団体等による支援を推進するために必要な事項を定めることにより、安心して支援を受けられる社会を実現することを目的とするものであります。条例は、全党派一致にて可決・成立。

全会一致にて条例を採択した埼玉県議会

優先駐車場の適正利用を目指す!

パーキングパーミット制度の導入を検討!

改正条例案を自民党県議団がパブコメ募集!

埼玉県議会自由民主党議員団では、障害者や妊婦、怪我をされた方々に専用駐車場の利用証を交付するパーキングパーミット制度の導入を目指し、プロジェクト・チームを立ち上げ、課題整理等検討を行って参りました。

パーキングパーミット制度は、平成十八年に佐賀県でスタートした制度であり、現在では福岡県や熊本県など四十一府県が同制度を取り入れています。県内に於いても、川口市と久喜市が独自に制度を導入しています。

こうした中、障害者等の優先区画に健常者が車を止めるルール違反への対応に苦慮している商業施設管理者等の声を受け、埼玉県に於いても広域行政の観点から、同制度の導入を目指すこととし、議論を続けて参りました。県内先進自治体である川口市、久喜市及びダブルスペースを導入している福岡県に現地視察及びオンライン視察を致しました。

課題の整理とともに、制度導入への取り組みとして「埼玉県福祉のまちづくり条例」を一部改正することとし、条例改正に伴う県民の意見を広く募集する「県民パブリック・コメント」を行っています。募集期間は、令和四年十二月二十三日から令和五年一月二十二日までの予定で、自民党埼玉県連ホームページにて賜っています。

条例が早期に制定され、障害者等が利用しやすい環境づくりが整うよう、皆様のご意見を宜しくお願い致します。



条例改正案を議論するプロジェクト・チームの様子



久喜市にて制度等の視察を行うPT幹部

自由民主党埼玉県支部連合会ホームページ
www.jimin-saitama.net

「政策大綱」を提言・提案!

自民党県議団が令和五年度予算編成に関する

「政策大綱」「市町村要望」を県知事に提出!

自民党県議団政調会が取りまとめた「令和五年度政策大綱(合計392項目)」及び「令和五年度埼玉県予算等に対する要望(市町村要望190項目・議員要望50項目)」を大野知事に提出し、令和五年度の埼玉県予算並びに施策の編成に反映するよう申し入れを行いました。



大野知事に政策大綱を提言する自民党県議団役員

令和五年度の予算については、引き続きコロナ対策、ポストコロナをにらんだ新しい生活様式、更には経済の再生に向けた対策や災害に強い県土づくり、物価高騰対策等が不可欠であり、対応した予算を求めました。

インターネットカフェの個室立てこもりを防ぐ 「埼玉県防犯のまちづくり推進条例」を改正!

自民党県議団では、一昨年及び昨年に県内で相次いで発生したインターネットカフェの個室立てこもり事件を受け、県民の安全・安心に寄与すべくプロジェクト・チームを立ち上げ、当該事案に関する課題を検討して参りました。

その中で、店舗内に個室を設けて営業するインターネットカフェ等における犯罪を防止するため、インターネットカフェ等の営業を行う者が必要な措置を講ずるよう努めるものとする旨を定めた「埼玉県防犯のまちづくり推進条例の一部を改正する条例案」を作成し、九月定例県議会に上程し、全会一致にて可決致しました。

内容は、個室を設け、当該個室において客に図書等の閲覧を行わせる営業を行う者等は、防犯に係る責任者の設置、従業員に対する防犯に係る指導、犯罪の防止に配慮した構造、設備等を有する店舗の整備その他必要な措置を講ずるよう努めるものとするものです。



声を大に。パワー最大!!!

埼玉県議会議員 渡辺 大

埼玉県議会自由民主党議員団 県政調査事務所

住所: 埼玉県ふじみ野市丸山7-1-102

電話: 049-265-6250

FAX: 049-265-6251

ホームページ: <https://dai-watanabe.com/>

E-mail: office.daiwatanabe@gmail.com



自民党県議団ニュース

埼玉県議会自由民主党議員団



県民ニーズを的確に捉え、県政をリードする自民党県議団!



所属議員：長峰宏芳 小谷野五雄 小島信昭 齊藤正明 宮崎栄治郎 本木 茂 田村琢実 高橋政雄 神尾高善 諸井真英 中屋敷慎一 梅沢佳一 新井一徳 須賀敬史 武内政文 齊藤邦明 小川真一郎 白土幸仁 岡地 優 荒木裕介 新井 豪 立石泰広 小久保憲一 日下部伸三 永瀬秀樹 細田善則 岡田静佳 内沼博史 横川雅也 飯塚俊彦 浅井 明 宇田川幸夫 松澤 正 吉良英敏 美田宗亮 藤井健志 木下博信 関根信明 宮崎吾一 高木功介 松井 弘 渡辺 大 千葉達也 逢澤圭一郎 高橋稔裕 阿左美健司 杉田茂実 小川直志 石川誠司 (以上49名)



団長ご挨拶

埼玉県議会自由民主党議員団

団長 小島 信昭

謹賀新年

皆様にかかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。平素は、埼玉県議会自由民主党議員団の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年、新型コロナウイルス対策が本県の重要施策として対応して参りました。県民の安全・安心に繋がる意見・提言を行うことで、現在の県のコロナ感染症対応に活かされているものと自負しております。また、令和四年度に於いても補正予算を六回組むなど、コロナ対策はもとより、長期化するエネルギー価格や物価の高騰等の影響により、

厳しい状況に置かれている事業者、県民への更なる支援を目指して参りました。この他にも、県議団にて取り組んだ主な施策についてご紹介致します。昨年二月定例会に於いて自民党県議団にて提出した「埼玉県ひきこもり支援に関する条例」が可決致しました。この条例は、ひきこもり支援に関し、基本理念を定め、県の責務及び民間支援団体等の役割を明らかにするとともに、民間支援団体等による支援を推進することにより、安心して支援を受けられる社会を実現することを目的とするものです。

また、六月定例会では、性的指向及び性自認の多様性を尊重した社会づくりに関し、全ての人の人権が尊重される社会の実現に寄与することを目的とする「埼玉県性の多様性を尊重した社会づくり条例」及び、部落差別の解消を推進し、もって部落差別のない社会を実現することを目的とする「埼玉県部落差別の解消の推進に関する条例」を提案・可決致しました。九月定例会では、県内で相次いで発生したインターネット力フェ個室立てこもり事件を受け、個室を設けて営業する店舗に必要な措置を講ずるよう求める防犯条例改正も行いました。今後も、時代の変化に即応できる政策に取り組みとて、県民の側に立つた県政運営を行って参ります。県民の皆様の自民党県議団への更なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

『埼玉県ひきこもり支援に関する条例』が可決・成立。施行されました!



「ひきこもり」はさまざまな要因によって社会的な参加の場面がせぼまり、就労や就学などの自宅以外の生活の場が長期にわたって失われている状態のことを指します。埼玉県議会自由民主党議員団では、ひきこもり支援に関しプロジェクトチームを作り、ひきこもり支援のための協議を続けて参りました。昨年二月定例会に於いて、「埼玉県ひきこもり支援に関する条例」を自民党発議で提案致しました。条例の内容は、ひきこもり状態にある者の意思を尊重することを基本理念として定め、県の責務及び民間支援団体等の役割を明らかにするとともに、民間支援団体等による支援を推進するために必要な事項を定めることにより、安心して支援を受けられる社会を実現することを目的とするものであります。条例は、全会派一致にて可決・成立。

優先駐車場の適正利用を目指す!

パーキングパーミット制度の導入を検討!

改正条例案を自民党県議団がパブコメ募集!

埼玉県議会自由民主党議員団では、障害者や妊婦、怪我をされた方々に専用駐車場の利用証を交付するパーキングパーミット制度の導入を目指し、プロジェクト・チームを立ち上げ、課題整理等検討を行って参りました。

パーキングパーミット制度は、平成十八年に佐賀県でスタートした制度であり、現在では福岡県や熊本県など四十一府県が同制度を取り入れています。県内に於いても、川口市と久喜市が独自に制度を導入しています。

こうした中、障害者等の優先区画に健常者が車を止めるルール違反への対応に苦慮している商業施設管理者等の声を受け、埼玉県に於いても広域行政の観点から、同制度の導入を目指すこととし、議論を続けて参りました。県内先進自治体である川口市、久喜市及びダブルスペースを導入している福岡県に現地視察及びオンライン視察を致しました。

課題の整理とともに、制度導入への取り組みとして「埼玉県福祉のまちづくり条例」を一部改正することとし、条例改正に伴う県民の意見を広く募集する「県民パブリック・コメント」を行っています。募集期間は、令和四年十二月二十三日から令和五年一月二十二日までの予定で、自民党埼玉県連ホームページにて賜っています。

条例が早期に制定され、障害者等が利用しやすい環境づくりが整うよう、皆様のご意見を宜しくお願い致します。



条例改正案を議論するプロジェクト・チームの様子



久喜市にて制度等の視察を行うPT幹部

自由民主党埼玉県支部連合会ホームページ
www.jimin-saitama.net

「政策大綱」を提言・提案!

自民党県議団が令和五年度予算編成に関する

「政策大綱」「市町村要望」を県知事に提出!

自民党県議団政調会が取りまとめた「令和五年度政策大綱(合計392項目)」及び「令和五年度埼玉県予算等に対する要望(市町村要望190項目・議員要望50項目)」を、大野知事に提出し、令和五年度の埼玉県予算並びに施策の編成に反映するよう申し入れを行いました。

令和五年度の予算については、引き続きコロナ対策、ポストコロナをにらんだ新しい生活様式、更には経済の再生に向けた対策や災害に強い県土づくり、物価高騰対策等が不可欠であり、対応した予算を求めました。

知事からは、予算編成に際しては各部署に周知を図り、ご提案の反映に向けた検討をさせて頂きたいと前向きな返答がありました。



大野知事に政策大綱を提言する自民党県議団役員

インターネットカフェの個室立てこもりを防ぐ「埼玉県防犯のまちづくり推進条例」を改正!

自民党県議団では、一昨年及び昨年に県内で相次いで発生したインターネットカフェの個室立てこもり事件を受け、県民の安全・安心に寄与すべくプロジェクト・チームを立ち上げ、当該事案に関する課題を検討して参りました。

その中で、店舗内に個室を設けて営業するインターネットカフェ等における犯罪を防止するため、インターネットカフェ等の営業を行う者が必要な措置を講ずるよう努めるものとする旨を定めた「埼玉県防犯のまちづくり推進条例の一部を改正する条例案」を作成し、九月定例県議会上程し、全会一致にて可決致しました。内容は、個室を設け、当該個室において客に図書等の閲覧を行わせる営業を行う者等は、防犯に係る責任者の設置、従業員に対する防犯に係る指導、犯罪の防止に配慮した構造、設備等を有する店舗の整備その他必要な措置を講ずるよう努めるものとするものです。



（この部分のテキストは上記の長い段落に含まれています）

誰もが安心して暮らせる埼玉へ!

埼玉県議会議員 木下博信



埼玉県議会自由民主党議員団 県政調査事務所

住所：埼玉県草加市吉町5-9-52

電話：048-924-8011

FAX：048-922-9645



Line ページを開設しました。このQR からご登録ください。



自民党県議団ニュース

埼玉県議会自由民主党議員団



県民ニーズを的確に捉え、県政をリードする自民党県議団!



所属議員：長峰宏芳 小谷野五雄 小島信昭 齊藤正明 宮崎栄治郎 本木 茂 田村琢実 高橋政雄 神尾高善 諸井真英 中屋敷慎一 梅沢佳一 新井一徳 須賀敬史 武内政文 齊藤邦明 小川真一郎 白土幸仁 岡地 優 荒木裕介 新井 豪 立石泰広 小久保憲一 日下部伸三 永瀬秀樹 細田善則 岡田静佳 内沼博史 横川雅也 飯塚俊彦 浅井 明 宇田川幸夫 松澤 正 吉良英敏 美田宗亮 藤井健志 木下博信 関根信明 宮崎吾一 高木功介 松井 弘 渡辺 大 千葉達也 逢澤圭一郎 高橋稔裕 阿左美健司 杉田茂実 小川直志 石川誠司 (以上49名)



団長ご挨拶

埼玉県議会自由民主党議員団

団長 小島 信昭

謹賀新年

皆様にかかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。平素は、埼玉県議会自由民主党議員団の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年、新型コロナウイルス対策が本県の重要施策として対応して参りました。県民の安全・安心に繋がる意見・提言を行うことで、現在の県のコロナ感染症対応に活かされています。また、令和四年度に於いても補正予算を六回組むなど、コロナ対策はもとより、長期化するエネルギー価格や物価の高騰等の影響により、

厳しい状況に置かれている事業者、県民への更なる支援を目指して参りました。この他にも、県議団にて取り組んだ主な施策についてご紹介致します。昨年二月定例会に於いて自民党県議団にて提出した「埼玉県ひきこもり支援に関する条例」が可決されました。この条例は、ひきこもり支援に関し、基本理念を定め、県の責務及び民間支援団体等の役割を明らかにするとともに、民間支援団体の役割を推進するため、ひきこもり支援の目的とするものです。

また、六月定例会では、性的指向及び性自認の多様性を尊重した社会づくりに関し、全ての人の人権が尊重される社会の実現に寄与することを目的とする「埼玉県性の多様性を尊重した社会づくり条例」及び、部落差別の解消を推進し、もって部落差別のない社会を実現することを目的とする「埼玉県部落差別の解消の推進に関する条例」を提案・可決致しました。

九月定例会では、県内で相次いで発生したインターネットカフェ個室立てこもり事件を受け、個室を設けて営業する店舗に必要な措置を講ずるよう求める防犯条例改正も行いました。今後も、時代の変化に即応できる政策に取り組みことで、県民の側に立った県政運営を行って参ります。県民の皆様の自民党県議団への更なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

「埼玉県ひきこもり支援に関する条例」が可決・成立。施行されました!



「ひきこもり」はさまざまな要因によって社会的な参加の場がせげばまり、就労や就学などの自宅以外の生活の場が長期にわたって失われている状態のことを指します。埼玉県議会自由民主党議員団では、ひきこもり支援に関し、プロジェクトチームを作り、ひきこもり支援のための協議を続けて参りました。

昨年二月定例会に於いて、「埼玉県ひきこもり支援に関する条例」を自民党発議で提案致しました。条例の内容は、ひきこもり状態にある者の意思を尊重することを基本理念として定め、県の責務及び民間支援団体等の役割を明らかにするとともに、民間支援団体等による支援を推進するために必要な事項を定めることにより、安心して支援を受けられる社会を実現することを目的とするものであります。条例は、全会派一致にて可決・成立。

優先駐車場の適正利用を目指す!

パーキングパーミット制度の導入を検討!

改正条例案を自民党県議団がパブコメ募集!

埼玉県議会自由民主党議員団では、障害者や妊婦、怪我をされた方々に専用駐車場の利用証を交付するパーキングパーミット制度の導入を目指し、プロジェクト・チームを立ち上げ、課題整理等検討を行って参りました。

パーキングパーミット制度は、平成十八年に佐賀県でスタートした制度であり、現在では福岡県や熊本県など四十一府県が同制度を取り入れています。県内に於いても、川口市と久喜市が独自に制度を導入しています。

こうした中、障害者等の優先区画に健常者が車を止めるルール違反への対応に苦慮している商業施設管理者等の声を受け、埼玉県に於いても広域行政の観点から、同制度の導入を目指すこととし、議論を続けて参りました。県内先進自治体である川口市、久喜市及びダブルスペースを導入している福岡県に現地視察及びオンライン視察を致しました。

課題の整理とともに、制度導入への取り組みとして「埼玉県福祉のまちづくり条例」を一部改正することとし、条例改正に伴う県民の意見を広く募集する「県民パブリック・コメント」を行っています。募集期間は、令和四年十二月二十三日から令和五年一月二十二日までの予定で、自民党埼玉県連ホームページにて賜っています。

条例が早期に制定され、障害者等が利用しやすい環境づくりが整うよう、皆様のご意見を宜しくお願い致します。



条例改正案を議論するプロジェクト・チームの様子



久喜市にて制度等の視察を行うPT幹部

自由民主党埼玉県支部連合会ホームページ
www.jimin-saitama.net

「政策大綱」を提言・提案!

自民党県議団が令和五年度予算編成に関する

「政策大綱」「市町村要望」を県知事に提出!



大野知事に政策大綱を提言する自民党県議団役員

自民党県議団政調会が取りまとめた「令和五年度政策大綱(合計392項目)」及び「令和五年度埼玉県予算等に対する要望(市町村要望190項目・議員要望50項目)」を大野知事に提出し、令和五年度の埼玉県予算並びに施策の編成に反映するよう申し入れを行いました。

令和五年度の予算については、引き続きコロナ対策、ポストコロナをにらんだ新しい生活様式、更には経済の再生に向けた対策や災害に強い県土づくり、物価高騰対策等が不可欠であり、対応した予算を求めました。

知事からは、予算編成に際しては各部署に周知を図り、ご提案の反映に向けた検討をさせて頂きたいと前向きな返答がありました。

インターネットカフェの個室立てこもりを防ぐ「埼玉県防犯のまちづくり推進条例」を改正!

自民党県議団では、一昨年及び昨年に県内で相次いで発生したインターネットカフェの個室立てこもり事件を受け、県民の安全・安心に寄与すべくプロジェクト・チームを立ち上げ、当該事案に関する課題を検討して参りました。

その中で、店舗内に個室を設けて営業するインターネットカフェ等における犯罪を防止するため、インターネットカフェ等の営業を行う者が必要な措置を講ずるよう努めるものとする旨を定めた「埼玉県防犯のまちづくり推進条例の一部を改正する条例案」を作成し、九月定例県議会に上程し、全会一致にて可決致しました。内容は、個室を設け、当該個室において客に図書等の閲覧を行わせる営業を行う者等は、防犯に係る責任者の設置、従業員に対する防犯に係る指導、犯罪の防止に配慮した構造、設備等を有する店舗の整備その他必要な措置を講ずるよう努めるものとするものです。



インターネットカフェ等の個室を立てこもりを防ぐため、インターネットカフェ等の営業を行う者が必要な措置を講ずるよう努めるものとする旨を定めた「埼玉県防犯のまちづくり推進条例の一部を改正する条例案」を作成し、九月定例県議会に上程し、全会一致にて可決致しました。内容は、個室を設け、当該個室において客に図書等の閲覧を行わせる営業を行う者等は、防犯に係る責任者の設置、従業員に対する防犯に係る指導、犯罪の防止に配慮した構造、設備等を有する店舗の整備その他必要な措置を講ずるよう努めるものとするものです。



埼玉県議会議員 「夢は力」久喜市に全力で!

よしかず

うめざわ佳一

埼玉県議会自由民主党議員団 県政調査事務所

住所：埼玉県久喜市栗橋中央2-9-14

電話 & FAX：0480-52-5517



自民党県議団ニュース

埼玉県議会自由民主党議員団



県民ニーズを的確に捉え、県政をリードする自民党県議団!



所属議員：長峰宏芳 小谷野五雄 小島信昭 齊藤正明 宮崎栄治郎 本木 茂 田村琢実 高橋政雄 神尾高善 諸井真英 中屋敷慎一 梅沢佳一 新井一徳 須賀敬史 武内政文 齊藤邦明 小川真一郎 白土幸仁 岡地 優 荒木裕介 新井 豪 立石泰広 小久保憲一 日下部伸三 永瀬秀樹 細田善則 岡田静佳 内沼博史 横川雅也 飯塚俊彦 浅井明 宇田川幸夫 松澤 正 吉良英敏 美田宗亮 藤井健志 木下博信 関根信明 宮崎吾一 高木功介 松井弘 渡辺大 千葉達也 逢澤圭一郎 高橋稔裕 阿左美健司 杉田茂実 小川直志 石川誠司 (以上49名)



団長ご挨拶

埼玉県議会自由民主党議員団

団長 小島 信昭

謹賀新年

皆様にかかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。平素は、埼玉県議会自由民主党議員団の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年、新型コロナウイルス対策が本県の重要施策として対応して参りました。県民の安全・安心に繋がる意見・提言を行うことで、現在の県のコロナ感染症対応に活かされているものと自負しております。また、令和四年度に於いても補正予算を六回組むなど、コロナ対策はもとより、長期化するエネルギー価格や物価の高騰等の影響により、

厳しい状況に置かれている事業者、県民への更なる支援を目的として参りました。この他にも、県議団にて取り組んだ主な施策についてご紹介致します。昨年二月定例会に於いて自民党県議団にて提出した「埼玉県ひきこもり支援に関する条例」が可決・成立しました。この条例は、ひきこもり支援に関し、基本理念を定め、県の責務及び民間支援団体等の役割を明らかにするとともに、民間支援団体等による支援を推進することにより、安心して支援を受けられる社会を実現することを目的とするものです。

また、六月定例会では、性的指向及び性自認の多様性を尊重した社会づくりに関し、全ての人の人権が尊重される社会の実現に寄与することを目的とする「埼玉県性の多様性を尊重した社会づくり条例」及び、部落差別の解消を推進し、もって部落差別のない社会を実現することを目的とする「埼玉県部落差別の解消の推進に関する条例」を提案・可決致しました。九月定例会では、県内で相次いで発生したインターネットカフェ個室立てこもり事件を受け、個室を設けて営業する店舗に必要な措置を講ずるよう求める防犯条例改正も行いました。今後も、時代の変化に即応できる政策に取り組み、県民の皆様の自民党県議団への更なるご支援とご協力をお願い申し上げます。

『埼玉県ひきこもり支援に関する条例』が可決・成立。施行されました!



全会一致にて条例を採択した埼玉県議会

「ひきこもり」はさまざまな要因によって社会的な参加の場面がせままり、就労や就学などの自宅以外の生活の場が長期にわたって失われている状態のことを指します。埼玉県議会自由民主党議員団では、ひきこもり支援に関しプロジェクトチームを作り、ひきこもり支援のための協議を続けて参りました。昨年二月定例会に於いて、「埼玉県ひきこもり支援に関する条例」を自民党発議で提案致しました。条例の内容は、ひきこもり状態にある者の意思を尊重することを基本理念として定め、県の責務及び民間支援団体等の役割を明らかにするとともに、民間支援団体等による支援を推進するために必要な事項を定めることにより、安心して支援を受けられる社会を実現することを目的とするものであります。条例は、全会派一致にて可決・成立。